

北海道のこども施策に関する知事への提言 報告書

【日時】令和7年（2025年）3月27日（木）11:45～12:10

【場所】北海道庁3階 知事会議室

概 要

- 「北海道こども施策審議会こども部会」において、令和7年（2025年）1月9日・10日の2日間、「こどもまんなか社会の実現に向けて意見を言うために大切なこと」というテーマで議論した結果を提言書にまとめ、道に対して提言いただきました。
- 27日は部会長と副部会長の3名が来庁され、他の委員の皆さんにはオンライン参加いただき、提言書を鈴木知事に手交しました。

提言のポイント

- ① こどもたちが意見を言える機会を増やすこと。
- ② こどもたちが安心して意見を言えるよう、話しやすい雰囲気作りや否定せずに受け入れる姿勢をもつなど、こどもたちが意見を言いやすい環境を作ること。
- ③ 意見を求める側は、理解しやすい言葉や例を用いて資料を作成するほか、グループでの意見交換やデジタルツールの利用など、手法を工夫するとともに、出された意見の検討プロセス（過程）や結果を分かりやすくフィードバックする（返す）こと。

提言書手交



提言内容の説明

部会長及び副部会長から知事に提言内容を説明しました。

知事からは、「これからの北海道をどうしていくべきか考えるときに、こどもや若者の皆さんの意見はとても重要」、「皆さんが意見を言いやすい環境をつくるにはどうすべきかなど、しっかりと考えていきたい」と、提言を受け止め、こどもたちが意見を言いやすい環境づくりを更に進めていくとの発言がありました。



懇 談

提言後、こども部会に参加してよかったことや課題だと感じたことなどについて、オンライン参加の委員も交えて、知事と懇談を行いました。

委員からは、「違う地域の同年代の子と交流する中で、自分にはない意見を持っていたり、新しい気づきを吸収できたり、多くの刺激を受けられた」、「なかなかない経験ができたので、次回も（こども部会を）開催してほしいし、規模を広げてほしい」、「（今回はオンライン会議の形だったが、）次回は対面で実施してほしい」などの意見が出されました。

知事からは、「皆さんにいろいろお話しただけて、本当に嬉しかったし、これからもこうした機会を作っていきたい」、「オンラインと対面をうまく組み合わせながら、参加した皆さんが気持ちよく発言できるように工夫していきたい」との発言がありました。

<こども部会について>

北海道こども施策審議会条例に基づき、こどもが自らの意見を表明する権利を行使することができ、こどもの意見が適切に社会に反映される環境を整備するため、こどもの視点から意見を聴取することを目的として令和6年5月に設置。